

希望のある町内へ

市長が伺います

市民と語る会

大館のよりよい明日をつくるため、市長と直接語り合いませんか。市では、『市民と語る会』の申し込みを随時受け付け、開催希望のある町内へ市長が伺います。町内の身近な問題から大館の将来についてのことまで幅広く語り合ってみませんか。

町内単位で随時開催

市では、市民の生の声を施策に反映させ、市民のだれもが住んでいてよかったと思えるまちづくりを進めるため「市民と語る会」を実施しています。「市民と語る会」は、生活に密着したよりきめ細かな提言をしていただくため、町内を単位（複数町内合同でもかまいません）として、町内会館など町内の希望する会場で開催します。

また、開催日時は、町内の希望を最優先に、町内と市が調整して決定します。開催時間については、原則として午後六時から九時までの間の二時間以内。以前実施した町内でも受け付けますので、希望する町内はお申し込みください。

あなたの要望、提言が 施策に反映されます

昨年度までの「市民と語る会」には、道路や側溝の整備、ごみ処

の将来について、日ごろ皆さんがお考えの夢を、遠慮なさらずにお聞かせください。

申し込みから開催まで

「市民と語る会」申込書（総務課にあります）に開催希望日時を記入し、希望日の十五日前までに提出してください。日程調整のうえ開催日時を決定し、連絡します。的確に回答するため、日時が決定したら、町内の要望、提言（おおむね十件程度）を開催日の十日前までに提出してください。

開催日に市長が伺い、あらかじめ提出された要望、提言について回答するほか、会場で出されるご質問についても回答します。

当日即答できなかったご質問等については、調査、検討のうえ後日町内へ回答します。

〔中〕総務課広報広聴係

（内線258）



市長リポート

No. 112



リサイクルの街

おおだて

これまで幾度かお伝えしてきたとおり、本市を含む県北地域は、国のリサイクル・マイン・パーク事業のモデル地域に指定されています。また、昨年から新エネルギービジョン策定調査が、国の一〇〇パーセント補助でスタートしています。さらに、今度は生ゴミ処理の第三セクターのモデル都市として本市が選定され、先日通産省の担当官が調査に訪れました。

これは、現在まで市民の皆さんがゴミ処理についてよく理解され、分別収集等にご協力いただいていたことが、国に評価された結果であると自負しています。リサイクルの分野においてこれほど矢継ぎ早に国からの指定や補助をいただけるようになること、本市は、いやが上にも「リサイクルの街」として全国的に注目を集めることになるでしょう。

この機会に、ゴミの処理及びリサイクルについて、もう一歩踏み込んだ認識を持ってみたいと考えています。やはり、生ゴミは燃やさずに土に、自然に返した方が合理的ですし、これからはゴミ処理そのものについても、より環境に優しい方法を追求していかなければなりません。ゴミ処理に取り組む姿勢が国に認められ、さらにリサイクルの分野で大きな期待を寄せられているのですから、われわれもその期待に応えられるよう最善を尽くそうではありませんか。

それにつけても市民の皆さんのご理解がなければ何一つとして進展の望めないことです。今後、具体的な取り組みについて検討を進めていきます。その結果に従って施策を打ち出し、皆さんにご協力をいただくこととなりますので、その際はどうぞよろしくお願ひします。

小物 元